



# 12年前日記

---

2000年1月5日（水）

---

山田夫妻

---

## 『12年前日記 2000年1月5日(水)』

【2000年1月5日(水)】\*2012年1月5日(木)記

朝10時、起床。朝っぱらからカオサン通りがやかましくてオチオチ寝てられない、もちろん暑い。ご明察の通り、本日も280Bに7連泊目。そういえば、ちょい前に流行った、なんか「連泊するとスパイに目をつけられるからうんぬん」の話はどうなったのでしょうか？ さあ～？

我が社の公衆電話からテレホン。内務省に電話掛けるもタイ語の留守電...じゃない。生電だ！ やってるよ！ ココに俺の年始年末休みは終わりを告げた。サワディーカーと言っているので、サワディーカップと元気よく。いきなりタイ語講座、サワディーカーは挨拶の言葉。男は語尾にカップ、女は語尾にカーをつける。こんなけ知ってれば、君もタイで取材可能だ！

もう教えられることはすべて教えたゆえ、タイ語講座永遠に終了。

けど、後は生タイ語でなんか言っているのだが何も分からない、いくら君たちのタイ語の先生と言えど。人生初とも言える大きな壁にぶちあたった。

とりあえず、耳元で訳のわからないタイ語で騒がれるとうるさくてかなわない。おちおち考え事もできないので、ガチャ切りしてみる。

なんかスカッとしたよ。

公衆電話の前で落ち着いて考えることに。年が明けて、電話は繋がったが、新たな重大問題が発生。留守電のタイ語が生声のタイ語に変わっただけで日本語が通じない。タイ語だもん。

じゃあ、どうしようって結論が出たのをひとまずよしとしよう。

11時、ギネス記録に挑戦中の昼マックも早3日連続(94B。2012の俺です。三日とも金額が違うが何を食べたかは書いていない)。フリーランスの根なしペンペン草だから、風の向くままの風が吹いていないので、気のむくまま極楽とんぼ。そういえば、見事順応したのかチェンマイ静養がよかったのか二度目のバンコク慣れは成功したらしい。バンコクは相変わらず空気が最悪だが、どこも痛くない。てか、まだチェンマイにいても問題なかったね。いきつけのセブンイレブン(28B)に立ち寄ってから、14時ホテルに戻る。

忙しい忙しい。急に仕事が入っててんてこ舞い。電話が通じないの案件をどうすべきか。水シャワーを浴びて、読書する。いつしか昼寝。

18時30分、定時を過ぎてることに気付かず、思わずサービス残業で昼寝をしてしまっていた。いやだ、コレじゃあ、働き蜂気取りの使用人みたい。仕事は持ち帰ることにして、何も考えずにフラリとタイの夕飯(55B)を食べに行く。

寝起きでポッ～としていて、押さえの8番ラーメン記録、3日目にして途絶える。いきつけのセブンイレブン(25B)に立ち寄る。

20時30分、職場権住居のホテルに戻る。明日もいたずら電話をかけて、ガチャ切りするか、それとも...まさかもうアレを。

1時、就寝。答え？ 出てないよ。

○本日の出費、「計算するのが面倒臭いから、各々で適当にしといてよ」B。ついでに一日の流

れも「いちいちうっとうしいから誰か簡単にまとめといて」ジャ～。

『12年前日記 2000年1月5日(水)』

<http://p.booklog.jp/book/41869>

著者：山田夫妻

著者プロフィール：<http://p.booklog.jp/users/yamadafusai/profile>

感想はこちらのコメントへ

<http://p.booklog.jp/book/41869>

ブックログのpapier本棚へ入れる

<http://booklog.jp/puboo/book/41869>

電子書籍プラットフォーム：ブックログのpapier (<http://p.booklog.jp/>)

運営会社：株式会社paperboy&co.